

# Dx



キーワードから読み解くDX

今回のキーワード

## 異業種×金融 デジタルが拓く新たな収益機会

規制緩和とデジタル技術の革新により、金融サービスへの異業種参入の扉が開かれました。これまで銀行の専売特許だった決済や融資が、いまや新たな収益源として脚光を浴びています。本業とデジタル金融の融合がもたらすビジネスチャンスと、その可能性を徹底解説します。

### 身近になった金融事業

これまで、決済や送金、ローンなどの金融サービスは銀行が提供するもので、流通小売など他業界の事業者は、手数料を払ってサービスを受ける立場でした。従来は法規制のハードルが高く、銀行業に進出するためには、膨大な設立申請書類を準備して設立する以外に方法がなかったからです。

しかし、2015年の銀行法改正や20年の金融サービス法などの法改正と金融サービス関連の新技术(フィンテック)によって、異業種から金融事業に参入するチャンスが到来しています。現在では、銀行代理店業の免許を取得し、スマホアプリを用意して、BaaS(後述)を利用すれば、非金融系事業者でも金融サービスを提供することができるようになりました。

### 金融業が新たな収益の柱に

では、異業種の事業者が金融事業に参入することで、どんなメリットがあるのでしょうか。一つは、新たな収益の柱をつくれることです。例えば本屋さんなら、収益の柱は本の売上から販管費を差し引いた金額ですね。その

### データは価値の宝庫

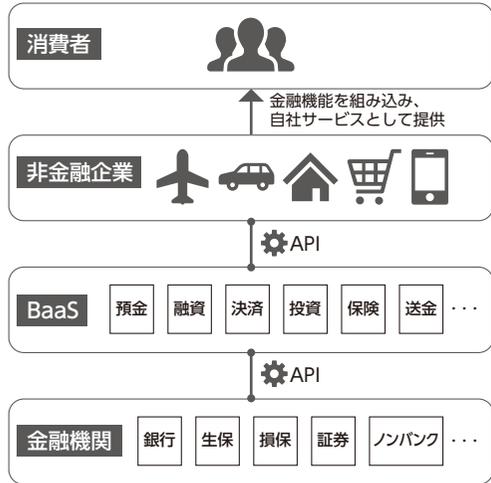
もう一つのメリットは、金融サービスで蓄積されるデータの活用ができることです。

これまで金融機関は長年にわたる業務の過程で、顧客情報と購買情報をデータとして膨大に蓄積しています。それらのデータは有効活用されることなく、「宝の持ち腐れ」状態になっていました。しかし、「コロナ禍を機に生活様式や勤務形態などが一変し、デジタル化が進化したことや、生成AIの登場といった技術革新によって、データ活用の機運はますます高

まっています。

金融業界には銀行、証券、生命保険や損害保険、信託、クレジットカード、リース等多くの業態がありますが、広く各業態でデータの活用ができるように、データ形式やプロセスを共通化し、データの品質向上を図る動きも、近年見られます。例えば、従来の文房具屋さんなら、「もつとペンの品揃えを増やしてほしい」といったお客様の要望や、「最近ラッピング関係が売れているようだ」などといった観察から店内の商品陳列を行っていたのではないのでしょうか。それが、自社で金融サービスを提供できるようにになれば、蓄積された顧客情報と購買情報の分析をもとに、ニーズの把握などができるようになります。さらにデータ分析に生成

(図) エンベデッド・ファイナンスの仕組み



### 金融との融合が変える未来

異業種の金融事業への参入障壁を押し下げたのが、エンベデッド・ファイナンスです。異業種サービスや製品に金融機能を組み込む革新的なアプローチで、それによって消費者は、決済などのために別のアプリやウェブサイトに移動することなく、日常的に利用するプラットフォームやアプリ内でシームレスに金融サービスを利用できるようになります。例えば、商品を買ったときに、会員証アプリを提示すればキャッシュレス決済まで一連の流れで完結できるといったサービスにこの技術が活用されています。

エンベデッド・ファイナンスを実現する方法としては、企業が独自に金融機能を開発したり、金融企業と提携して共同でサービスを提供する方法もありますが、中小企業でも利用しやすいのが、冒頭に出てきたBaaS



柴山治(しばやま・おさむ)  
デジタル戦略プランナー/  
株式会社YOHACK CEO

米国ワシントン大学 経営学修士課程(Global Executive MBA)修了。ITベンチャー、コンサルティングファーム、外資系生命保険会社等を経て、現在は株式会社YOHACK代表。企業の成長フェーズや課題に応じた、テラーメイドの支援を提供している。著書に『日本型デジタル戦略』等がある。



※DXに関するお悩みは、どんなことでもお気軽にご相談ください。

(Banking as a Service)です。BaaSとは、エンベデッド・ファイナンスを実現するための仕組みです。金融機関が提供してきた機能やサービスをモジュール化してAPI\*で連携し、異業種の事業者はモジュール化された各金融機能に接続することで、金融サービスを自社サービスの一部として提供できるようになります(図参照)。

エンベデッド・ファイナンスは、金融サービスの提供方法や金融業界を根本的に変革する可能性を秘めており、今後更なる発展が期待されています。異業種の経営者の皆さんにとって、新たな収益機会獲得のチャンスですので、フィンテックの動向を注視していただきたいと思います。

\*Application Programming Interfaceの略。ソフトウェアやアプリ間で機能やデータをやり取りするための仕組み